

平成 29 年 4 月 14 日

報道関係者各位

住友不動産株式会社

宮城県石巻市「さくら町」で桜の植樹活動を実施 ～「桜」が見守る町と子ども未来～

住友不動産株式会社は、再開発による木造住宅密集地域の解消や耐震性の劣るビルの共同建替えなど、都市における安心安全な街づくりを行っています。また、全国的には「新築そっくりさん」ブランドで知られる“戸建一棟丸ごとリフォーム”で、お客様の愛着ある我が家を建て替えせずに耐震補強し、不安を抱える皆さまのお悩みを解決してまいりました。

このように様々な事業を通じて都市や住まいの防災・減災に取り組んでいる当社は、東北復興支援の一環として NPO 法人さくら並木ネットワークが実施する「さくら並木プロジェクト※」に支援参加しております。広くこの活動を知っていただくため、昨年より当社がエリアマネジメントを行う六本木・西新宿などのイベントで近隣就業者や来街者の方々に「桜基金」へのご支援を募ってまいりました。

今般、イベント売上金の一部と趣旨にご賛同いただいた方々からのご支援を、「桜基金」として寄付するとともに、津波によって甚大な被害を受けた宮城県石巻市の防災集団移転団地（新町名「さくら町」）で住民の皆様と渡波中学校の校庭に「桜」の植樹を実施する機会をいただきました。

今回植樹を実施したさくら町の渡波中学校は、2011 年 9 月に始まった仮設校舎での生活を終え、本年 4 月に新校舎の開校を迎えました。渡波地区の復興の象徴としての期待が込められた渡波中学校は、教育の場としてだけでなく、地域コミュニティの核となるよう校舎正面入り口に地域のイベントにも利用できる屋外広場を設けています。この屋外広場や公園など、さくら町の各所に植えさせていただいた「桜」が世代を超えて子どもたちの成長を見守ってくれる存在となることを願っています。



<新年度 4 月から開校を迎えた渡波中学校>



<中学校の校庭に植樹をする様子>

■「さくら並木プロジェクト」 世代を超え、代々語り継ぎ、いのちを守りたい

大津波到達地点へ桜並木の植樹をすることで 100 年後の未来まで、津波の甚大な被害を風化させることなく伝承し、将来必ず起こると言われている津波の際に、住民の避難の目安となることで 1 人でも多くの“いのちを守りたい”との想いで生まれました。

皆様からのご支援は、被災地住民の方々の経済復興支援として、また咲き誇る桜は復興へ向かう人々の希望となります。



100年後にTSUNAMIを伝えるために

■ 甚大な津波被害に遭った渡波地区・防災集団移転団地での植樹活動

石巻市は宮城県で二番目の人口がある自治体で、昔から漁業を中心に栄えた経緯もあり、海とは切っても切り離せない地域です。そのため、石巻市の東日本大震災の津波浸水エリアは広大なものでした。広域に及ぶ各地での復興計画は、進捗にばらつきが出るなか、中心部エリアでは徐々に区画整理が進んできております。

その石巻市において、被災市街地復興土地区画整理事業として渡波地区で造成が進められていた新市街地の新町名が「さくら町」に決定いたしました。「さくら町」という町名になる地区なのだからと、自治体も桜を沢山植えておりますが、住民の方々も自ら桜を植樹したいというご意向を受け、今回の植樹が実現いたしました。

このさくら町の名にふさわしい桜を大事に育て、本日植樹に参加した子ども達や後世の皆に、震災と津波の記憶を伝えていきたい。

【さくら町三・四丁目地区・区長】 雁部 正男 様

数年後、さくら町西公園の桜の下、お花見ができることを楽しみにしています。ご支援いただいた方々には、大変感謝しております。

【千刈田地区(さくら町一・二丁目含む)区長】 丹野 耕治 様



<写真・植樹実施時>

■ 住友不動産の被災地復興支援活動について

<都心ビジネス街での桜イベント>

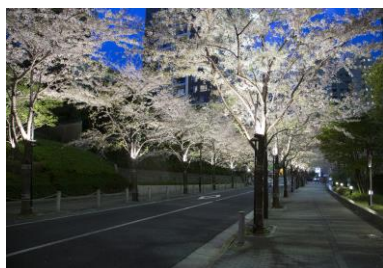
当社は、日頃より都内で運営管理するオフィスビルやイベントホールを活用し、大人から子どもまで幅広い方々が街を訪れ楽しんでいただけるイベントを開催しています。今春も、桜の開花時期に合わせて六本木や西新宿、日本橋など合計6ヵ所で開催した「さくら祭り」のなかで、桜基金の特別チャリティ販売会を実施いたしました。こうしたイベントを通じて、東京都心で生活する多くの方にこの減災活動をお伝えするとともに、ご協力をいただきながら継続的な支援に繋げております。

<東北エールマーケット MARCHE>

自然豊かな地域で育まれた農産物や海産物、東北の歴史が息づく伝統工芸品、優しい味に笑顔がこぼれるスイーツ、東北にはたくさんの魅力的な商品があります。それらの東北の産品を全国に発信・販売し、東北の復興・発展を目指し、Yahoo! Japan では、2011年12月よりECモール「東北エールマーケット」を運営しています。

当社はヤフー株式会社と協力し、オフィスビルの公開空地※などの場所を提供することで、多くの方に実際に見て、手に取り、ご購入いただく機会を創出いたしました。本年3月7日、11日に高田馬場と日本橋で「東北エールマーケット MARCHE」を開催いたしました。

※一般に公開された歩行者の通行可能なオープンスペース



<本件に関する報道関係者からのお問合せ先>

住友不動産株式会社 広報部 鈴木 TEL : 03-3346-1042